



「農」の力で未来を拓く、世界への第一歩！

JICA筑波 農業高校生 国際協力実体験プログラム

2025 **8.25** (月)

9:30 - 17:00

農業
×
国際

探求
×
SDGs

進路
×
生き方

場所 JICA筑波（茨城県つくば市高野台3-6）

対象 農業高校や普通高校農業科に在籍する高校生、または農業に関心のある高校生

定員 30名程度（最少催行人数10名）

費用 無料 * JICA負担：往復交通費、宿泊費（必要な場合）、昼食代

申込〆切 2025年8月4日（月）

申込方法 こちらのQRコードからお申込みください。



独立行政法人国際協力機構
筑波センター（JICA筑波）



029-838-1144



tbictpp@jica.go.jp



プログラム内容（予定）

午前

9:00	受付開始
9:30-9:45	開会、プログラム説明、JICA筑波の農業の取り組み紹介
9:45-10:00	アイスブレーキング
10:00-11:10	<u>「農業×国際協力」の分野で活躍する先輩たちと語らおう！</u> ●高校や大学で農業を専攻し、「農業×国際協力」の現場で活躍している先輩たちから、学生時代に取り組んだこと、現在のお仕事について話を聞きます。 〔講師（予定）〕 - 丸山 順平さん（都立農芸高等学校 緑地環境科/東京農業大学 国際農業開発学科/JICA海外協力隊 カメルーン野菜栽培/現・一般社団法人 海外農業開発協会勤務） - 佐藤 利春さん（岩手県立花巻農業高校 食品化学科/JICA海外協力隊 スリランカ食品加工/パキスタンJICA専門家（果実加工）/JICA草の根技術協力プロジェクト「ネパール国：農業高校教育強化」サブマネージャー 上記お2人の他、JIRCAS（国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター）の研究者の方などが参加予定です！
11:10-12:00	<u>JICA研修員との交流 その①</u> ●JICA筑波で稲作栽培を学ぶ研修員たちに各学校の取り組みを紹介し、研修員たちから各国の農業の現状を聞き、意見交換をします。（英語通訳サポートあり） ＊研修員：開発途上国から農業技術の研修を受けに来ている方々

参加者の声

農業という専門分野を生かした様々な仕事があることやそのやりがいについて聞くことができ、自分の将来の選択肢が広がった！



プログラム内容（予定）



▶ 午後

12:00-13:00	<u>ランチ交流会</u> ●JICA筑波で働くスタッフやJICA海外協力隊経験者も参加します！
13:00-14:00	<u>研修員との交流 その②</u> ●JICA筑波の圃場で研修員と一緒に稲の収量調査を行います。
14:00-15:45	<u>ワークショップ「もしJICA海外協力隊になったら！」①活動案作成</u> ●あなたがJICA海外協力隊としてアフリカ等の開発途上国に派遣されたら...! JICA海外協力隊になったつもりで、その国の農業の課題を解決する活動計画を作ってみるワークショップです。課題となっている原因は何なのか、どんな取り組みが必要なのか、何ができるのかを他の参加者と一緒に考えてみましょう。
15:45-16:30	<u>ワークショップ「もしJICA海外協力隊になったら！」②発表</u> ●ワークショップ①で作成した活動案を発表します。
16:30-16:50	<u>振り返り</u>
16:50-17:00	<u>閉会式・事務連絡（事後課題についての説明等）</u>

▶ 参加者の声

たくさんの「はじめまして」の人と話し合うことができ、新たな視点が生まれた!



▶ 参加者の声

いつかJICA海外協力隊に挑戦し、高校で学んだ知識や技術を用いて世界に貢献したいと思った。

英語は意外となんとかなることに気づいた。今後も英語と農業の勉強を頑張ろうと思う。



プログラムの目的

- ・ 農業を学んでいる高校生に、農業農村開発分野での国際協力事業やキャリアについての紹介、またJICA研修員との交流を通して、開発途上国の農業の課題および当該分野のキャリア形成について理解や関心を高める。
- ・ 参加者が農業という専門性を生かして、国際協力にどう関わるか、自分たちにできること、行動にどうつなげるかを考える。

定員と対象

- ・ 30名程度（最少催行人数10名）
- ・ 農業高校や普通高校農業科に在籍する、または農業に関心のある高校生
- ・ 参加に関して保護者の同意が得られる方
※教員の方の1名引率をお願いしています。
※原則として1校につき、教員引率者1名、生徒1名以上4名までの参加とします。
※4名を超えての参加を検討される場合はご相談ください。

事前課題・事後課題

事前課題：JICA事業に関する動画の視聴

英語での学校での取り組みPPT作成・発表準備（PPTひな形を提供）

事後課題：プログラムに参加した感想動画またはPPT（1分以内）

費用

- ・ JICA負担（参加生徒及び引率教員1名分）：自宅または学校所在地からJICA筑波までの往復交通費、昼食代（お弁当支給）、JICA筑波宿泊費
※交通費：公共交通機関で最も経済的かつ合理的なルート为原则とし実費支給。1人あたり上限50,000円。
航空券代は領収費必須。
※遠方からの参加でJICA筑波に前泊後泊が必要な場合は申込の際にお知らせください。
※お申し込み後に交通費請求書や宿泊申込書をお送りします。
- ・ 参加者負担：上記以外で参加に必要な費用

その他

- ・ 実施期間中（自宅～JICA筑波往復含む）の負傷、事故については当センターでは責任を負いかねますので、不測の事態への対処としてイベント保険等への加入はご自身でお願いいたします。
- ・ プログラムで撮影した写真・映像はJICA事業の紹介やプログラム広報のためにホームページ・SNSや冊子で公開されることがあります。予めご了承ください。

申込方法および申込〆切

2025年8月4日(月)17時必着

オンライン申込フォームからお申込みください（担当の教員がまとめてお申込みください）。

※申込順に応募を受け付け、定員に達した時点で締め切ります。

※上記の方法でお申し込みが難しい場合は、ご相談ください。

参加決定通知

- ・ お申し込み後、約1週間～10日以内にメールで参加決定通知をお送りします。（最終通知期限：2025年8月8日（金））
- ・ 決定と合わせて事前課題をお送りします。



〔問い合わせ先〕

JICA筑波 農業高校国際協力実体験プログラム事務局

E-mail tbictpp@jica.go.jp

TEL 029-838-1144

〒305-0074

茨城県つくば市高野台3-6